

川口市 雨水出水浸水想定区域図

—Q & A—

令和8年3月

川口市上下水道局

1. 雨水出水浸水想定区域とは？

水防法に規定される想定最大規模降雨により、公共下水道等の排水施設の能力を上回り雨水を排除できなくなった場合等（内水氾濫）において、浸水が想定される区域のことです。この区域を雨水出水浸水想定区域として指定しております。

2. 想定最大規模降雨とは？

想定最大規模降雨とは、それぞれの地域で過去に観測された最大の降雨量により設定されており、川口市では1時間雨量 153mmを使用しています。

想定最大規模降雨は、概ね 1,000 年に一度発生する可能性がある降雨量を目安に設定されています。

3. 雨水出水浸水想定区域図の活用方法は？

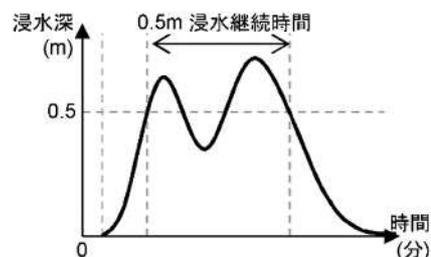
雨水出水浸水想定区域図は、市民の皆様が浸水リスクをご確認していただくことによる自助・共助の促進を目的としております。

今後も下水道の整備による浸水被害の軽減に努めて参りますが、整備完了した後も想定を上回る降雨の場合は、浸水が発生する場合があります。雨水出水浸水想定区域図を参考に、災害リスクを把握し、市民の皆様ご自身が被害軽減対策や安全対策を考える契機にさせていただきたいと考えております。

4. 浸水継続時間とは？

浸水継続時間とは、想定最大規模降雨により 0.5m 以上の浸水が継続する時間のことです。

右図のように、一旦水が引いて、浸水深が 0.5m を下回った後、再び増水して 0.5m を上回った場合は、最初に 0.5m を上回ってから、最終的に 0.5m を下回るまでの通算時間（0.5m を下回っている時間を含む）が浸水継続時間となります。



5. 内水氾濫と外水氾濫とは？

内水氾濫とは、大雨が降った際に雨水で下水道管の中が満杯となることで、道路上に降った雨水が下水道管へ流れにくくなることにより道路に水が溜まることです。

外水氾濫とは、河川の水が堤防から溢れることです。

6. 雨水出水浸水想定区域図はどのように作成しているのか？

内水氾濫が発生した場合に想定される浸水範囲や浸水深等を、浸水シミュレーションにより作成しています。

浸水シミュレーションとは、地盤高等の地形情報、下水道や水路等の排水施設、放流先である河川の状況等をコンピュータの中で再現し、任意の雨を降らせた場合、どのように浸水するのかを総合的に解析するものです。

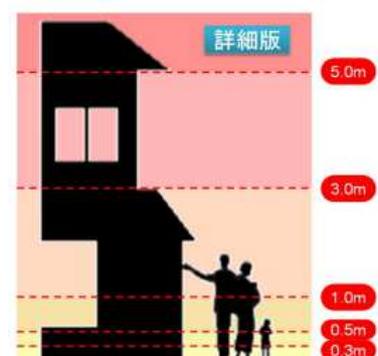
7. 実際にこのような大きい浸水被害が発生するのか？

想定最大規模降雨は、現状の科学的な知見や研究成果を踏まえた上で、想定し得る最大規模のものとして設定しています。降雨の発生頻度は極めて小さい事象（概ね 1,000 年に 1 回程度）ですが、実際に発生する可能性はあります。実際に、平成 11 年に千葉県香取市で 1 時間雨量 153 mm を観測しています。

8. 浸水深の目安は？

浸水深の目安は、以下のとおりです。

浸水深 0.3m 以上～0.5m 未満	床下浸水（大人の膝までつかる）
浸水深 0.5m 以上～1.0m 未満	床上浸水（大人の腰までつかる）
浸水深 3.0m 以上～5.0m 未満	家屋の 1 階が水没
浸水深 5.0m 以上～	家屋の 2 階が水没



9. 過去に浸水実績がある箇所が雨水出水浸水想定区域図で浸水が想定されていない (着色のない) のはなぜか？

浸水実績があった当時より下水道等の整備により対策が施されたこと、土地造成などによる地形の変化があったこと等が考えられます。

また、雨水出水浸水想定区域図はあくまでも下水道の排水能力によって浸水が想定される区域を示しているため、落ち葉等が雨水柵に詰まったことによる浸水や国土地理院の地盤高データにはない局所的なくぼ地による浸水等が表現できていないためと考えられます。

10. 外水氾濫（洪水）は考慮しているのか？

外水氾濫（洪水）は考慮していません。国や県が管理している一級河川の外水氾濫（洪水）による浸水想定区域を確認されたい方は、洪水浸水想定区域図や洪水ハザードマップをご確認ください。

洪水浸水想定区域図 (<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1007/shinsuisouteikuiki/>)

洪水ハザードマップ

(<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01040/010/7/1/35751.html>)

※作成者のホームページにリンクします。